

# 医療に関する市民意識調査

— 概要版 —



稲城市

## 調査の概要

### ➤ 調査目的

稲城市では高齢化率の上昇や区画整理事業等による人口増加により、将来的には、市民の医療や在宅療養需要は増加してくるものと予想しており医療計画を策定します。そのため、市民の医療ニーズを把握するため、受診の現状や将来の医療への期待等についてアンケート調査を実施しました。

### ➤ 実施調査

次の調査を実施しました。

- ① 「医療に関する市民意識調査（年齢別）」
- ② 「医療に関する市民意識調査（乳幼児の保護者）」

### ➤ 調査期間

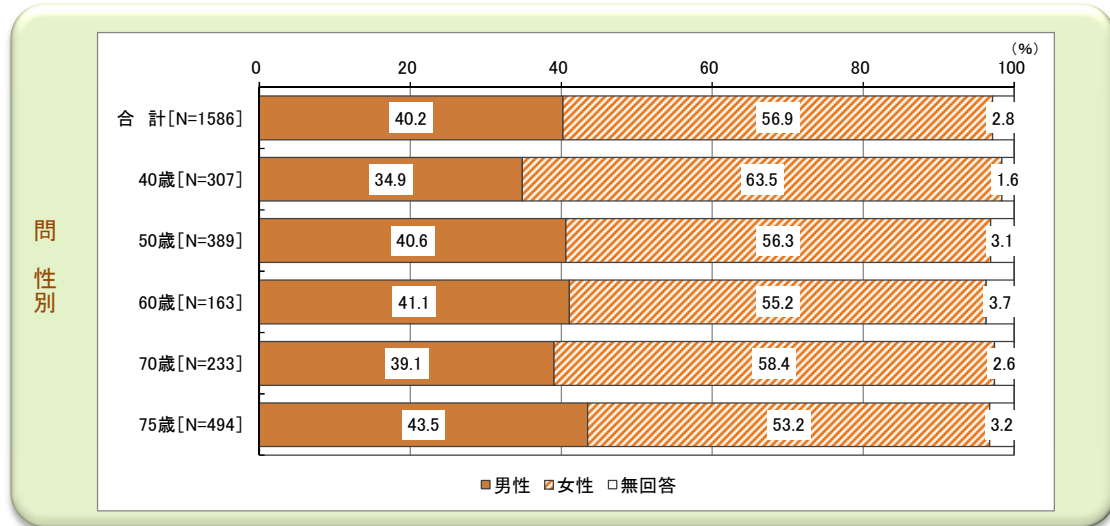
平成 27 年 5 月～7 月

### ➤ 調査対象、発送・回収件数、調査項目

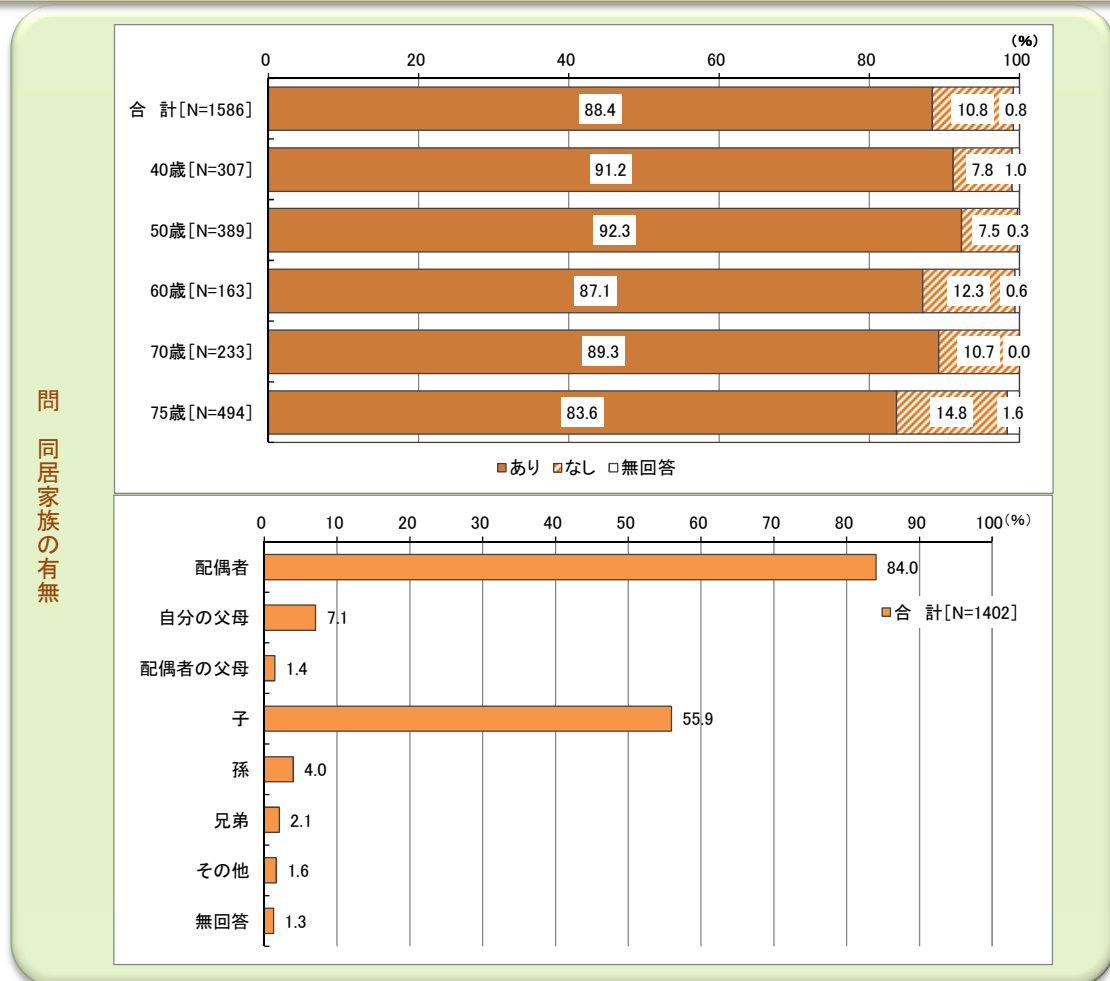
	①医療に関する市民意識調査 (年齢別)	②医療に関する市民意識調査 (乳幼児の保護者)
調査対象	・平成 27 年度に満年齢で、40 歳、50 歳、60 歳、70 歳、75 歳になる男女。	・平成 27 年 6、7 月に稲城市保健センターで実施された各乳幼児健診（3～4 か月児・1 歳 6 か月児・3 歳児）受診者の保護者。
発送数 回収数	・5,165 件を配布、 1,586 件を回収。	・492 件を配布、 343 件を回収。
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本情報 性別、居住地区、同居家族</li> <li>・医療機関の受診状況 かかりつけ医 外来受診状況 夜間・休日の受診 市内医療機関の受診状況 受診時の印象</li> <li>・市内の医療体制 充実してほしい診療科 診療の機能</li> <li>・10 年後の医療を取り巻く環境 受診の状況（見込） 受診の意向（将来時） 在宅医療への不安 行政への期待</li> <li>・健康管理 定期健診での指摘の有無 服薬の有無 健康維持で心がけている事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本情報 性別、居住地区、同居家族</li> <li>・子どもの医療機関の受診状況 かかりつけ医 外来受診状況 夜間・休日の受診 市内医療機関の受診状況 受診時の印象</li> <li>・市内の医療体制 充実してほしい診療科 診療の機能</li> <li>・10 年後の医療を取り巻く環境 受診の状況（見込） 受診の意向（将来時） 在宅医療への不安 行政への期待</li> <li>・回答者（保護者）の健康管理 定期健診での指摘の有無 健康維持で心がけている事 がん検診受診の有無</li> </ul>

## ①市民意識調査（年齢別）の結果（主な項目別）

- 回答者の性別、年齢別の状況は、各年齢とも女性が約 6 割、男性が約 4 割となっています。



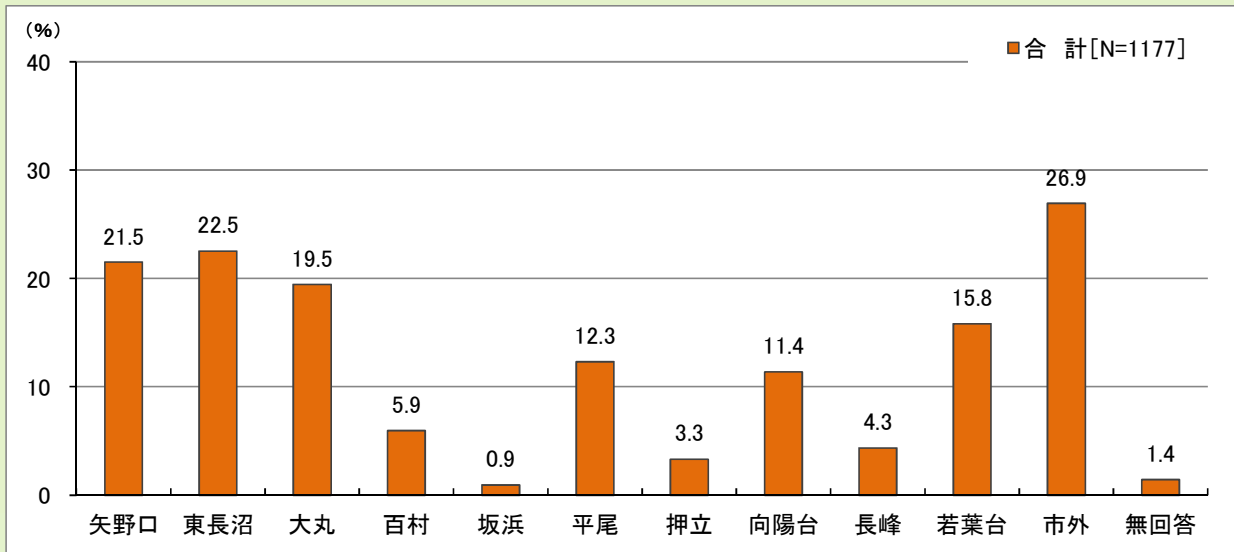
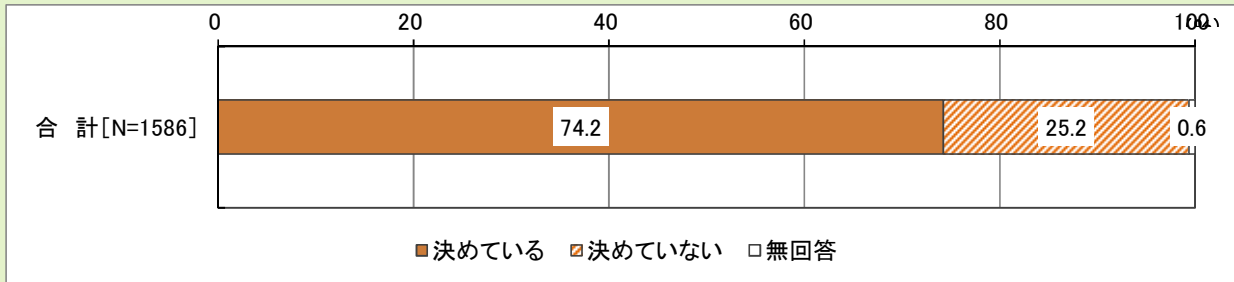
- 同居家族の有無は、各年齢とも「あり」が約 9 割、「なし」が約 1 割となっています。同居家族との関係は「配偶者」「子」が主体です。



※集計については、小数第二位を四捨五入しているため、合計が 100%と合わないことがあります。(以下同様)

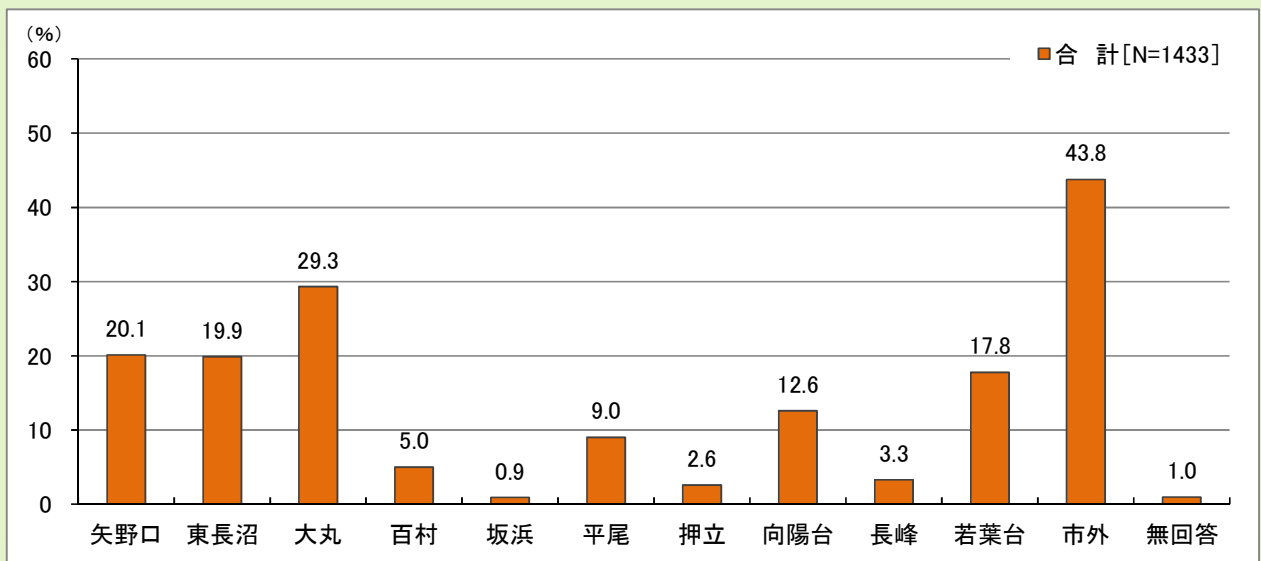
- 回答者の74.2%の方が「かかりつけ医」を決めております。また、かかりつけ医の地区は、「市外」が26.9%と最も多い状況です。

問  
かかりつけ医の有無・その所在地区

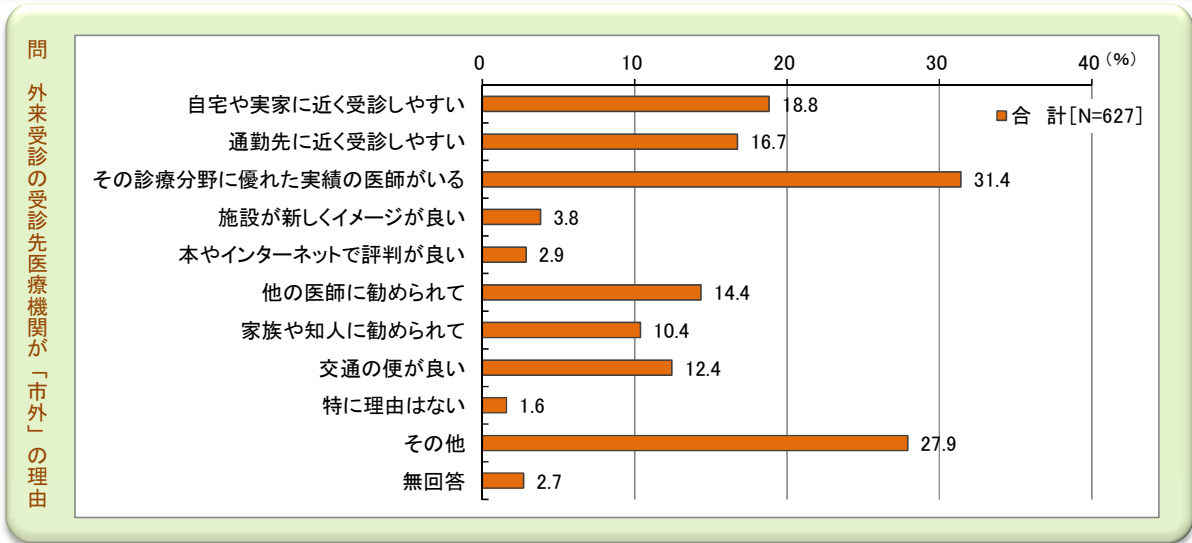


- 過去1年間の外来受診も「市外」の回答が43.8%と最も多い状況です。かかりつけ医が市外にいることと関連していることが伺えます。

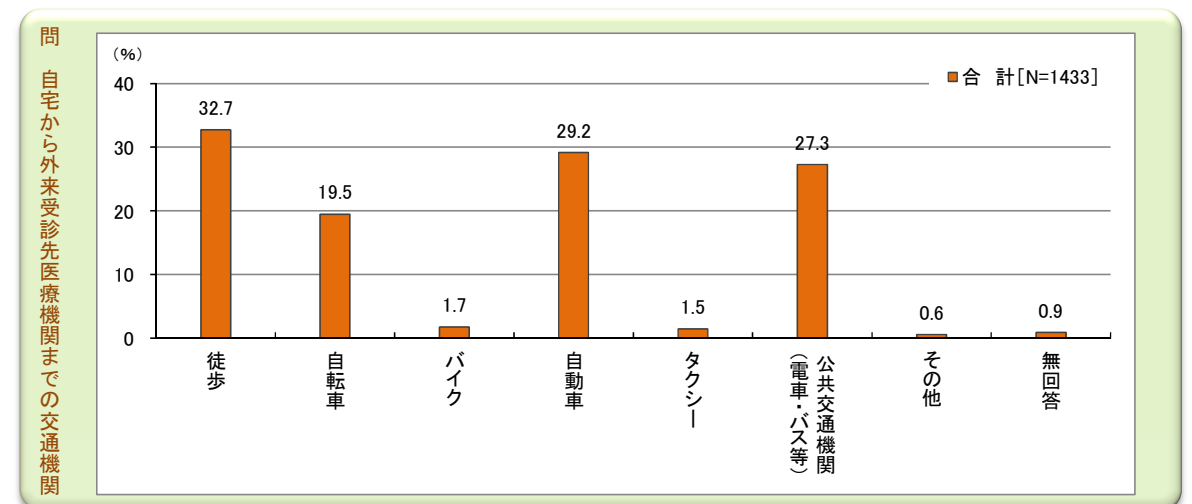
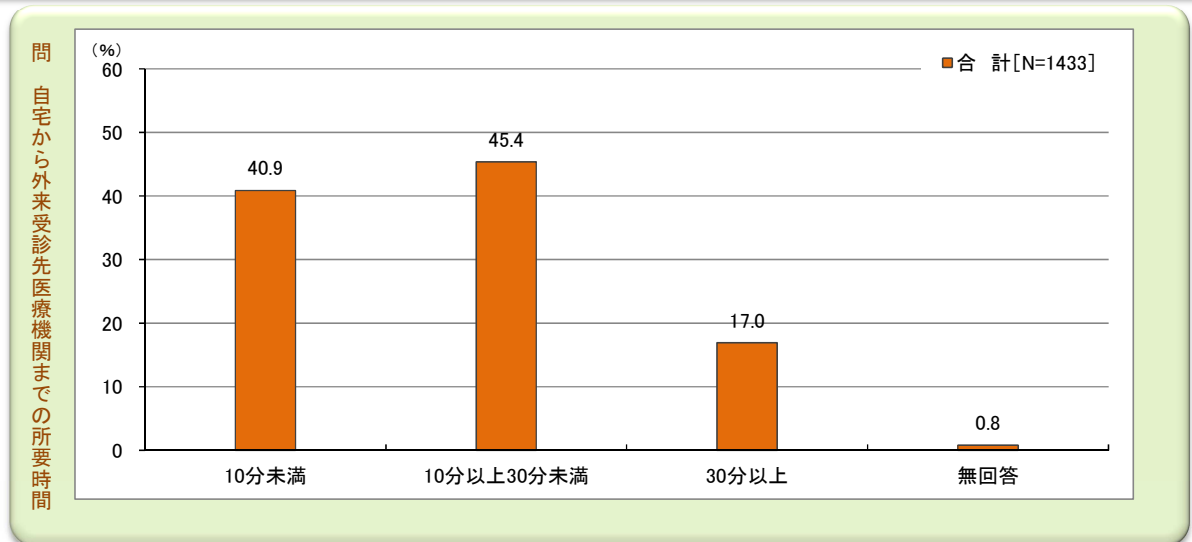
問  
外来受診の受診先医療機関の所在地区



- 外来受診が市外の理由については、受診に際して「診療分野に優れた実績の医師がいる」が31.4%と最も多くなっています。

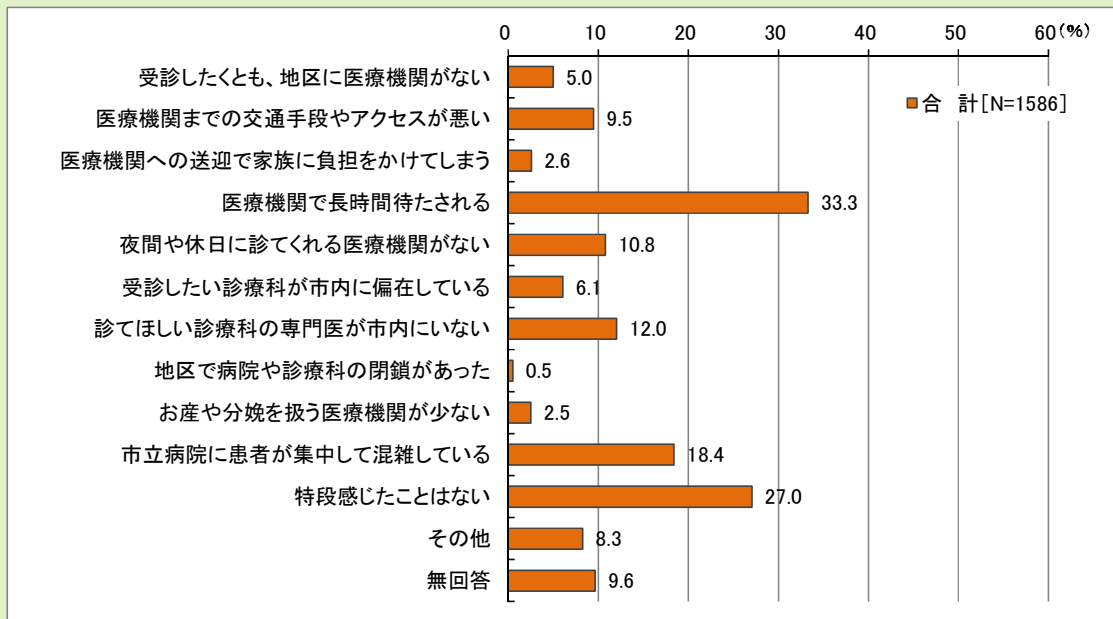


- 自宅から医療機関までの外来受診の時間は「10分以上 30分未満」の45.4%、手段は「徒歩」が32.7%と最も多くなっています。



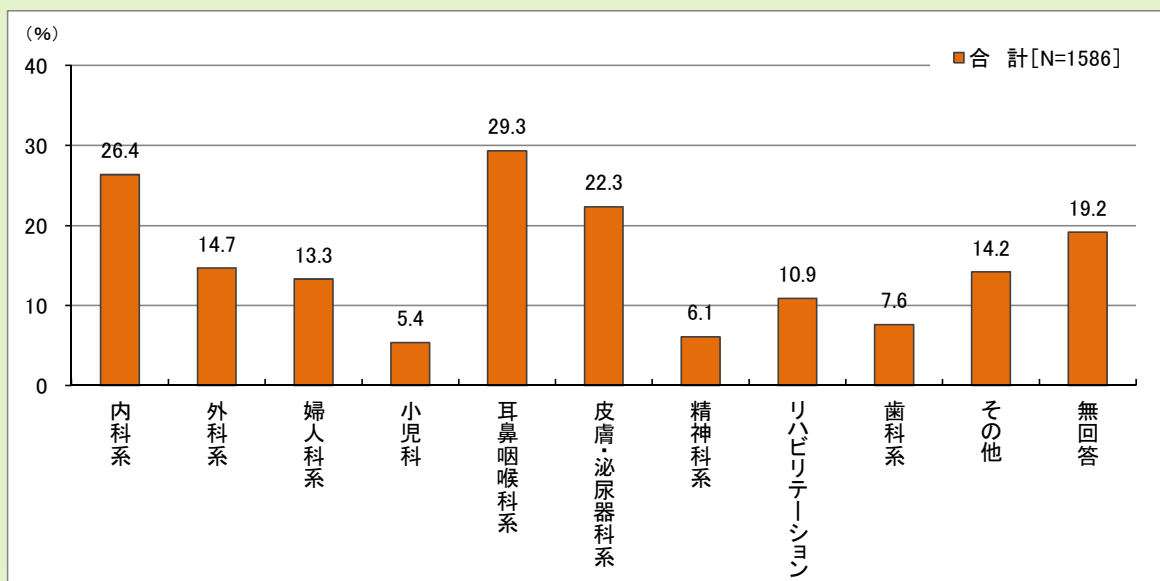
- 市内の医療機関を受診した際に感じたこととしては、「医療機関で長時間待たされる」が33.3%と多く、次いで「特段感じた事がない」は27.0%、「市立病院に患者が集中して混雑している」が18.4%です。

問  
今までに市内の医療機関を受診した際に、感じたこと

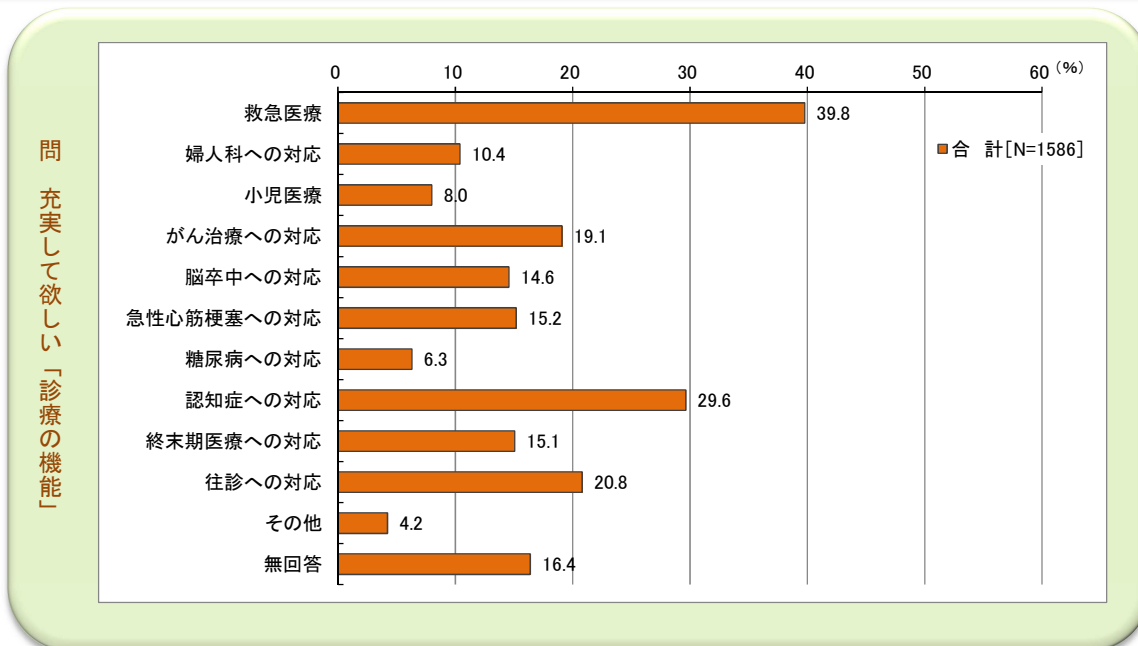


- 今後充実してほしい診療科については、「耳鼻咽喉科」が29.3%、次いで「内科」が26.4%です。

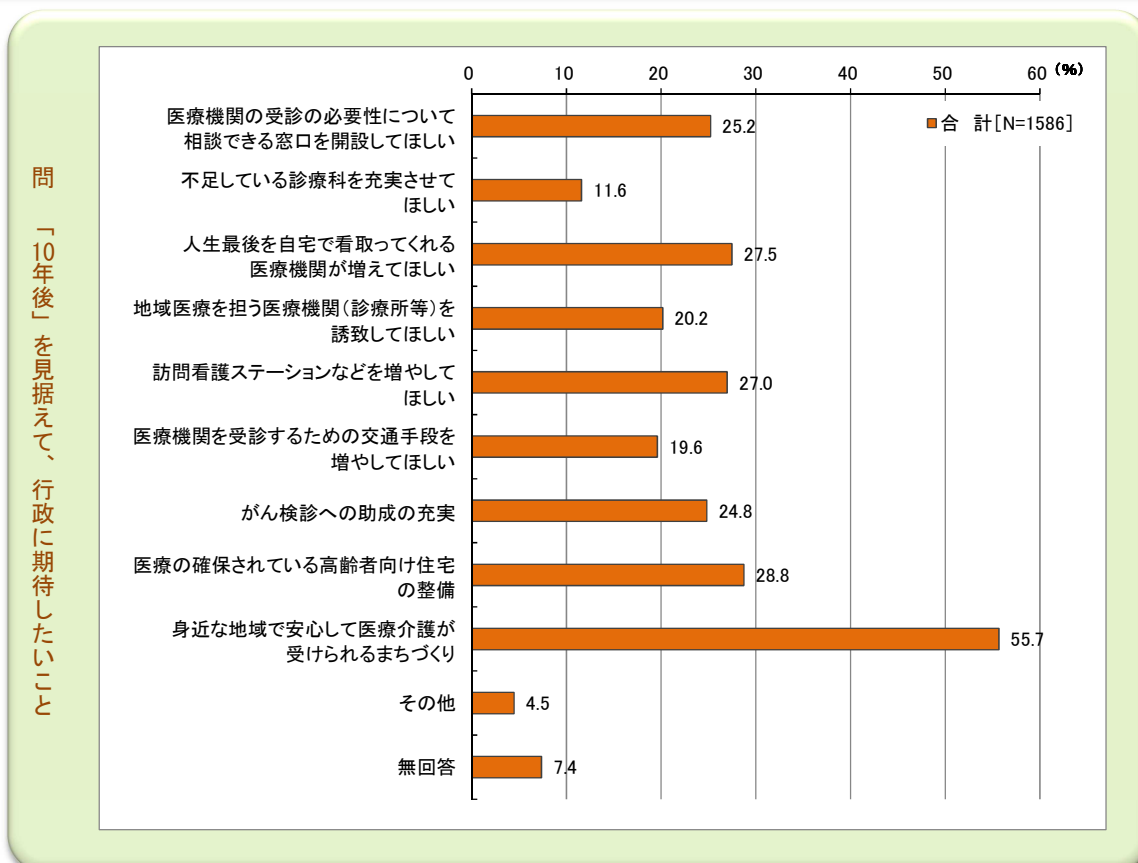
問  
充実してほしい「診療科」



- お住まいの地区で、今後充実してほしい診療機能については、「救急医療」が39.8%、次いで「認知症への対応」が29.6%、「往診への対応」が20.8%です。

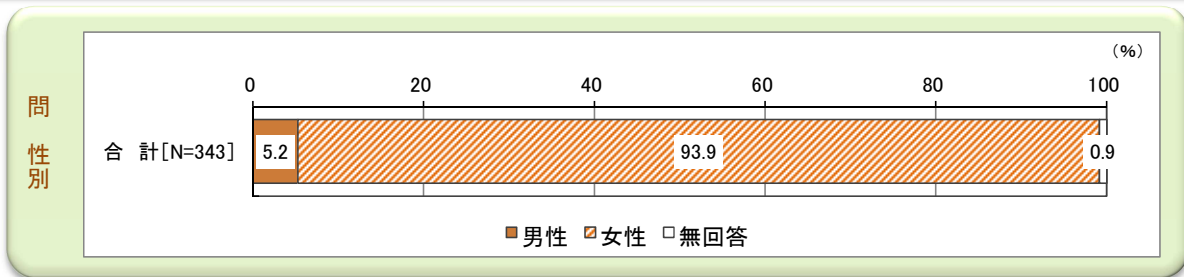


- 10年後の将来を見据えて、行政に期待したいことについては、「身近な地域で安心して医療・介護が受けられるまちづくり」が55.7%、次いで「医療の確保されている高齢者向け住宅の整備」が28.8%、「看取りの医療機関が増えてほしい」が27.5%、「訪問看護ステーションなどを増やしてほしい」が27.0%です。

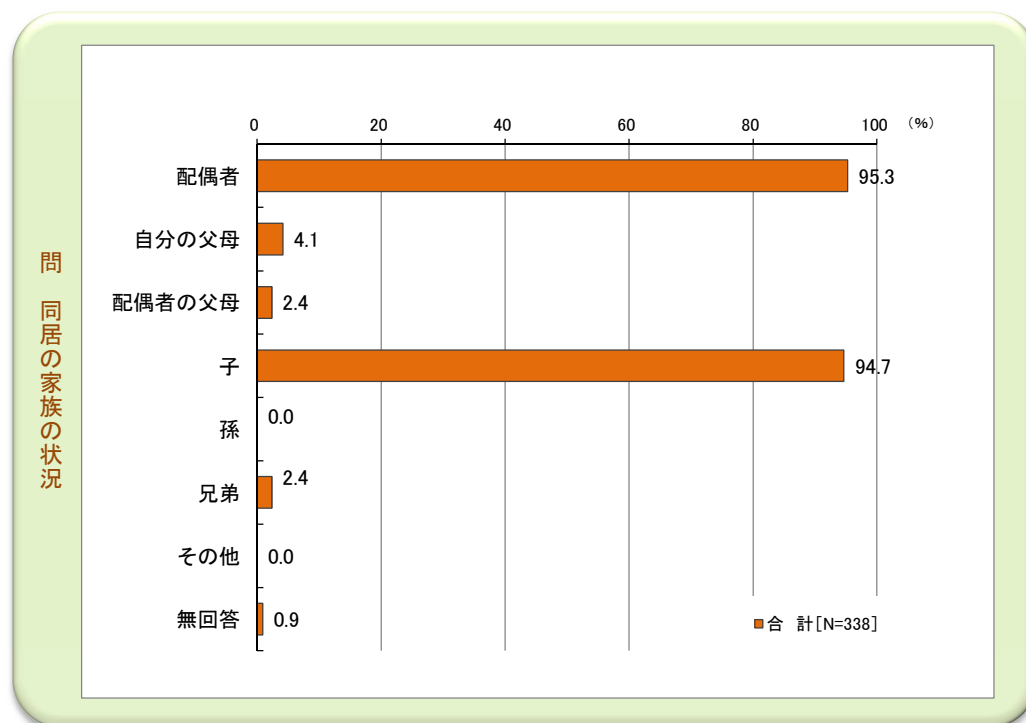
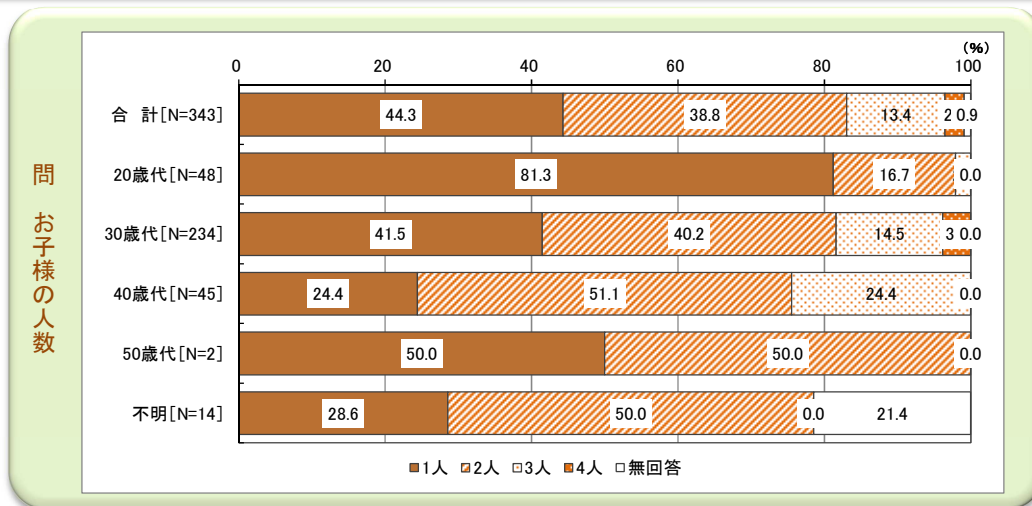


## ②市民意識調査（乳幼児の保護者）の結果（主な項目別）

- 回答者の性別は、女性が93.9%です。また、年代別の状況は、20歳代～40歳代の方が、9割を占めています。



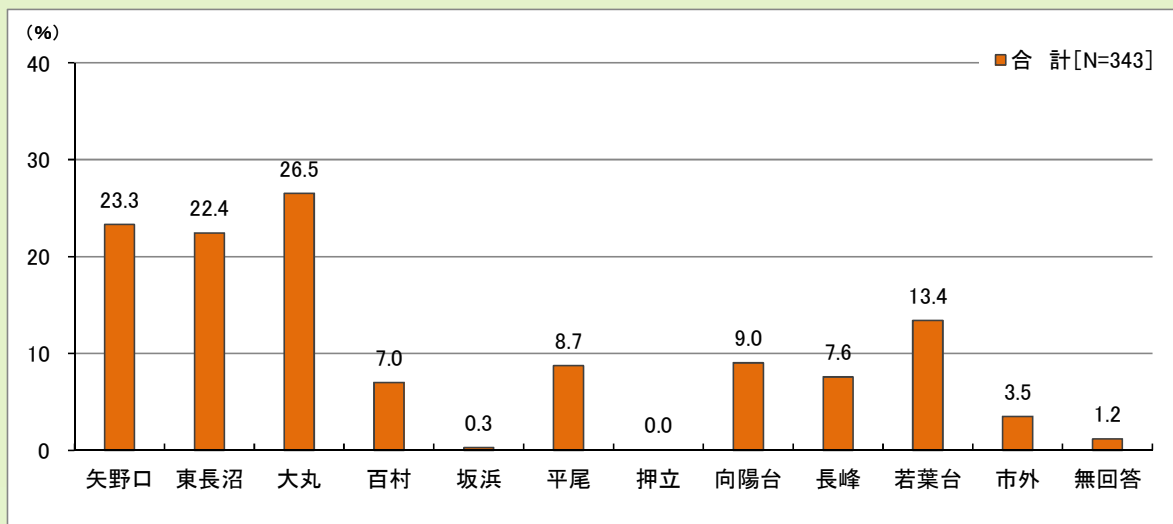
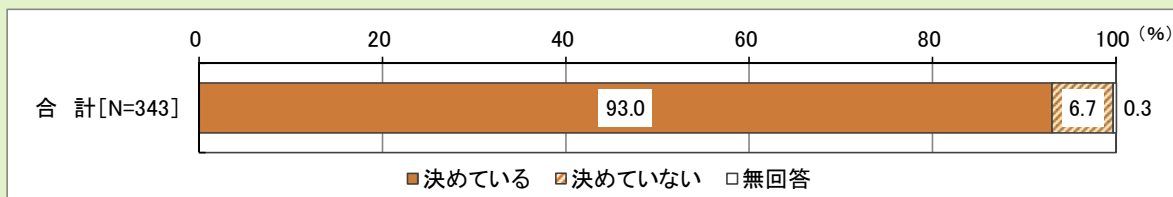
- 回答者のお子様は1人または2人が多く、年代が高くなると「2人」「3人」の割合が高くなります。同居の家族は、自分の父母や配偶者の父母との同居は少なく、配偶者と子だけの核家族が9割を占めています。





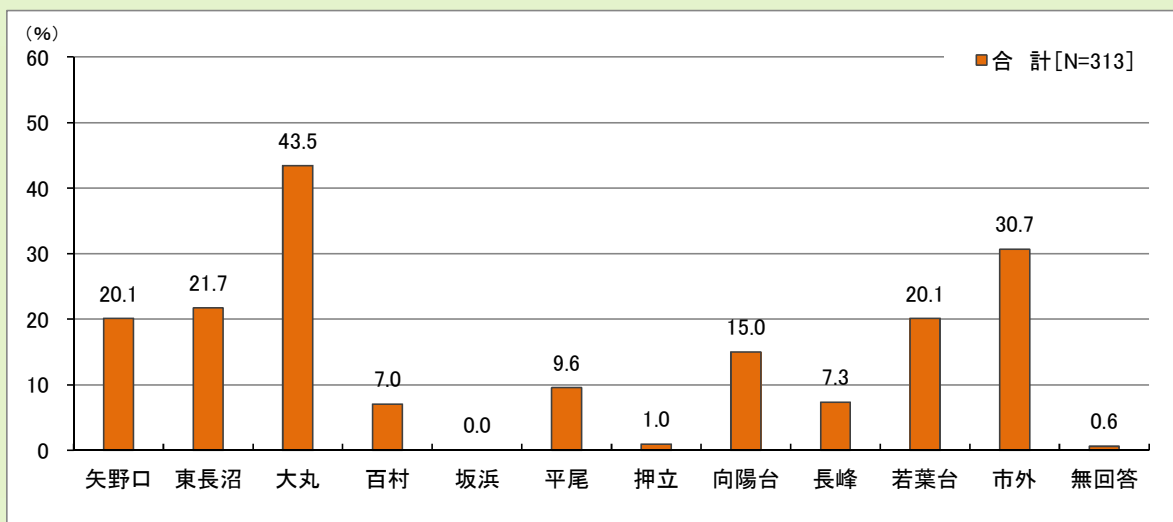
- 「お子様のかかりつけ医を決めている」とした回答者は、93.0%となっており、その所在地区は、大丸、矢野口、東長沼とする回答の割合が多くなっています。

問  
かかりつけ医の有無・その所在地区



- 過去1年間にお子様のお外来を受診した医療機関の所在地区は、大丸が43.5%と最も多く、次いで市外が30.7%です。

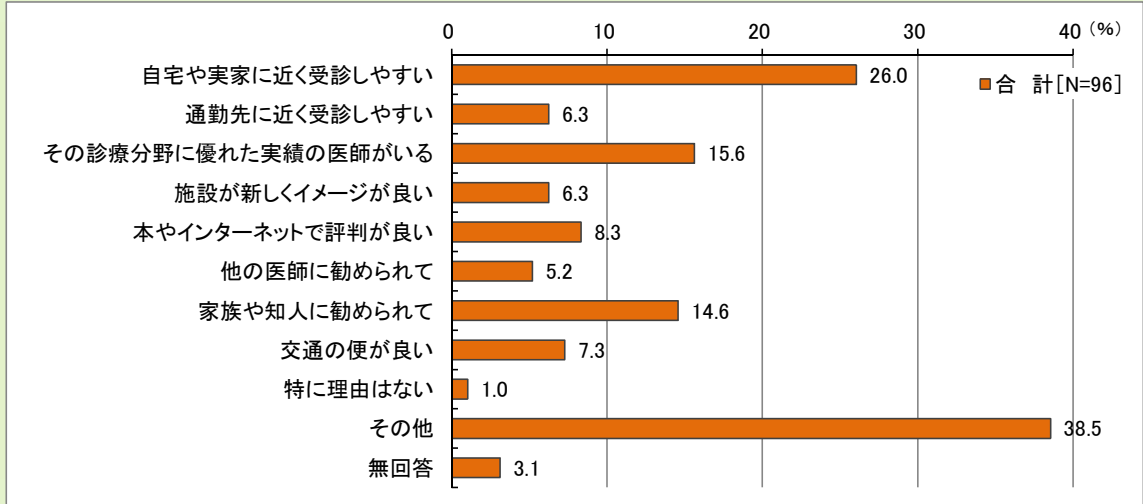
問  
お子様の外来受診機関の所在地区



- お子様が生外の医療機関を外来受診した理由としては、「自宅や実家が近く受診しやすい」が最も多く26.0%です。なお、その他回答として、「引越前から受診していた」「救急で受け付けてくれた」などの回答があります。

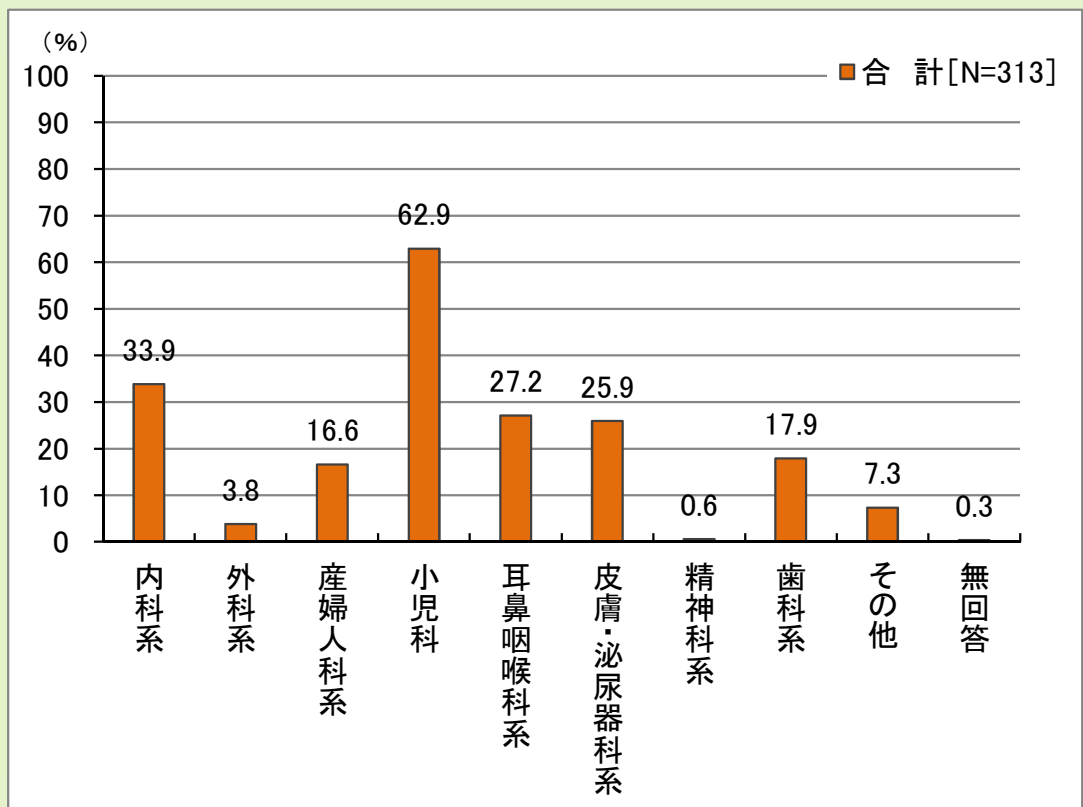
問

「生外」の医療機関を外来受診した理由



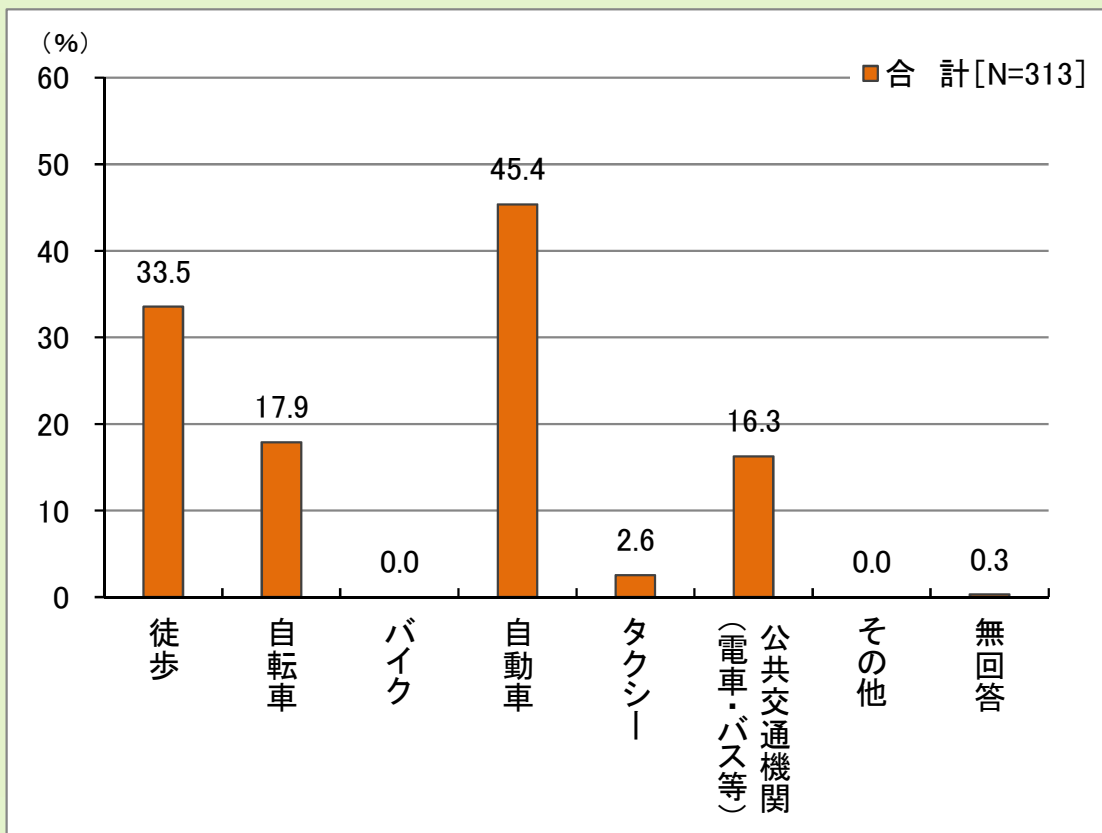
- お子様が生外受診した診療科については、「小児科」が62.9%、次いで「内科」が33.9%、「耳鼻咽喉科」が27.2%です。

問  
お子様が受診した診療科



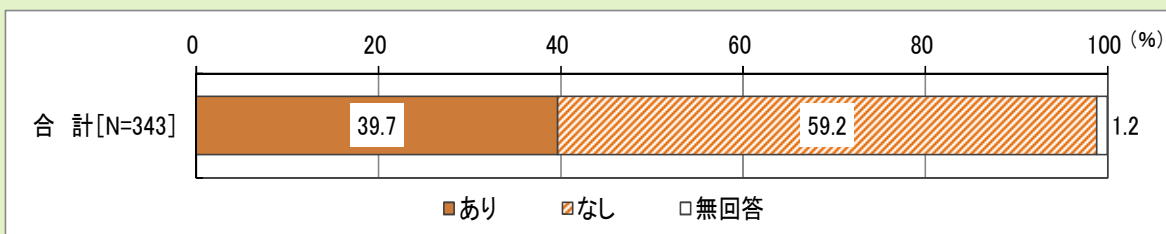
- お子様の外来受診の際に利用した交通手段は、「自動車」が45.4%、「徒歩」が33.5%です。

問  
お子様の受診時に利用した交通手段



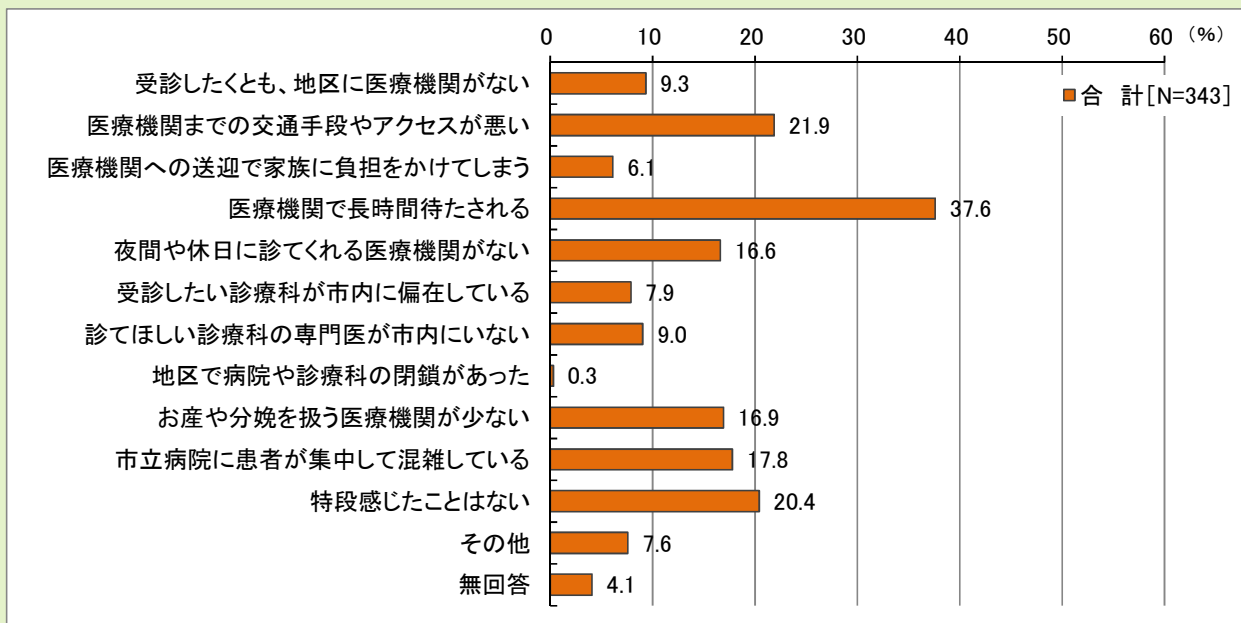
- 過去1年間のお子様の夜間・休日の医療機関の受診の有無（救急車による搬送は除く）については、「あり」が39.7%です。

問  
お子様の夜間・休日の受診



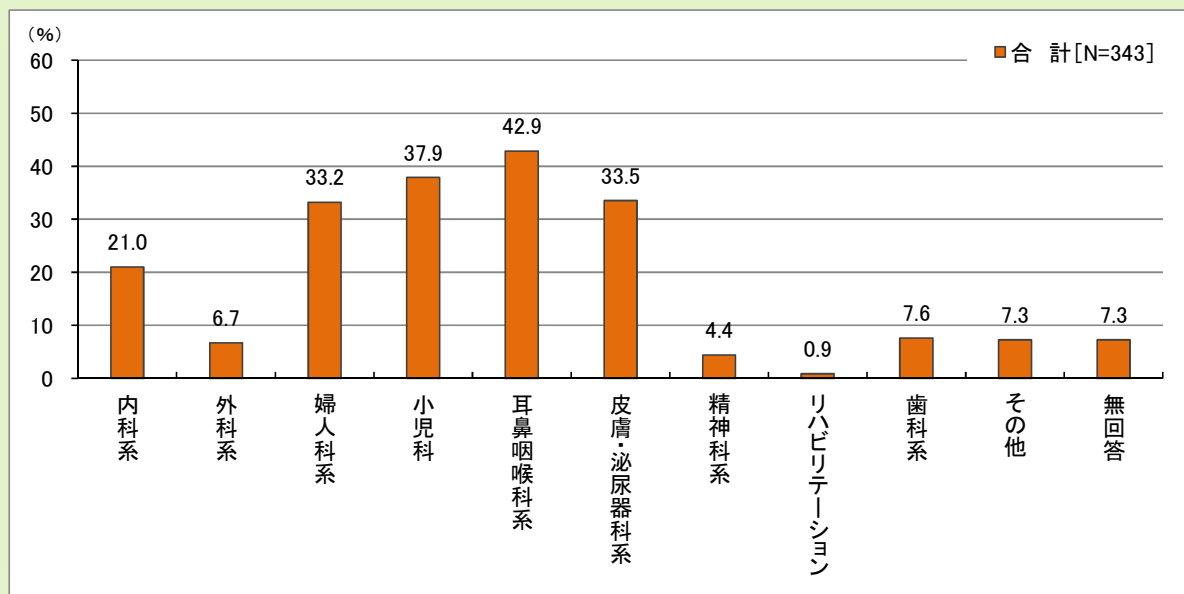
- 市内の医療機関を受診した際に感じたこととしては、「医療機関で長時間待たされる」が37.6%と多く、「医療機関までの交通手段やアクセスが悪い」が21.9%です。

問  
今までに市内の医療機関を受診した際に、あなたが感じたこと

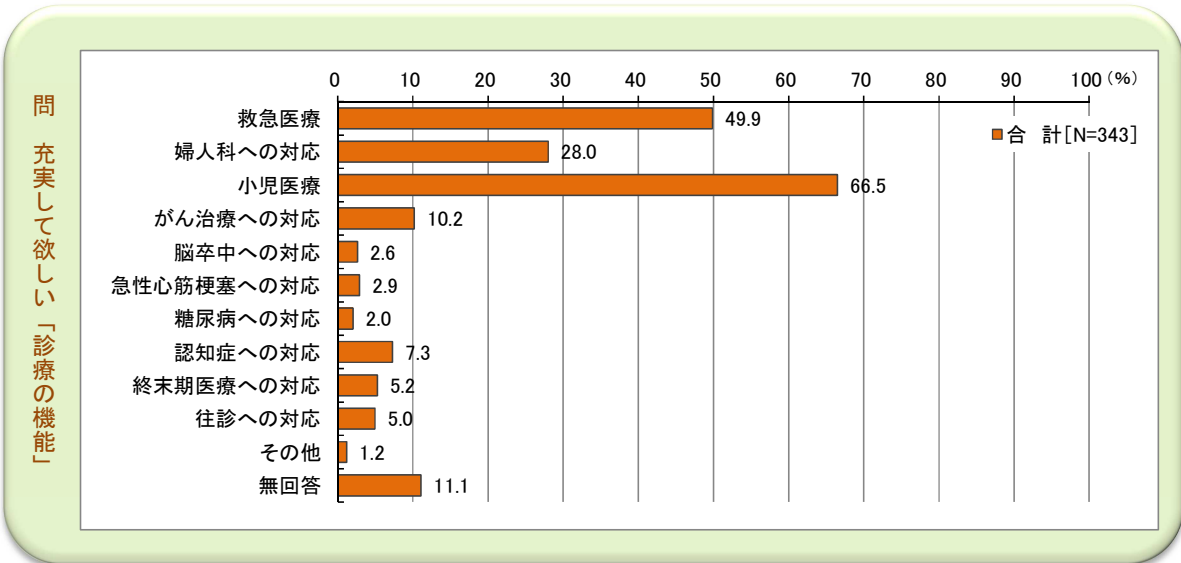


- 今後充実してほしい診療科については、「耳鼻咽喉科」が42.9%、次いで「小児科」が37.9%、「皮膚・泌尿器科」が33.5%、「婦人科」が33.2%です。

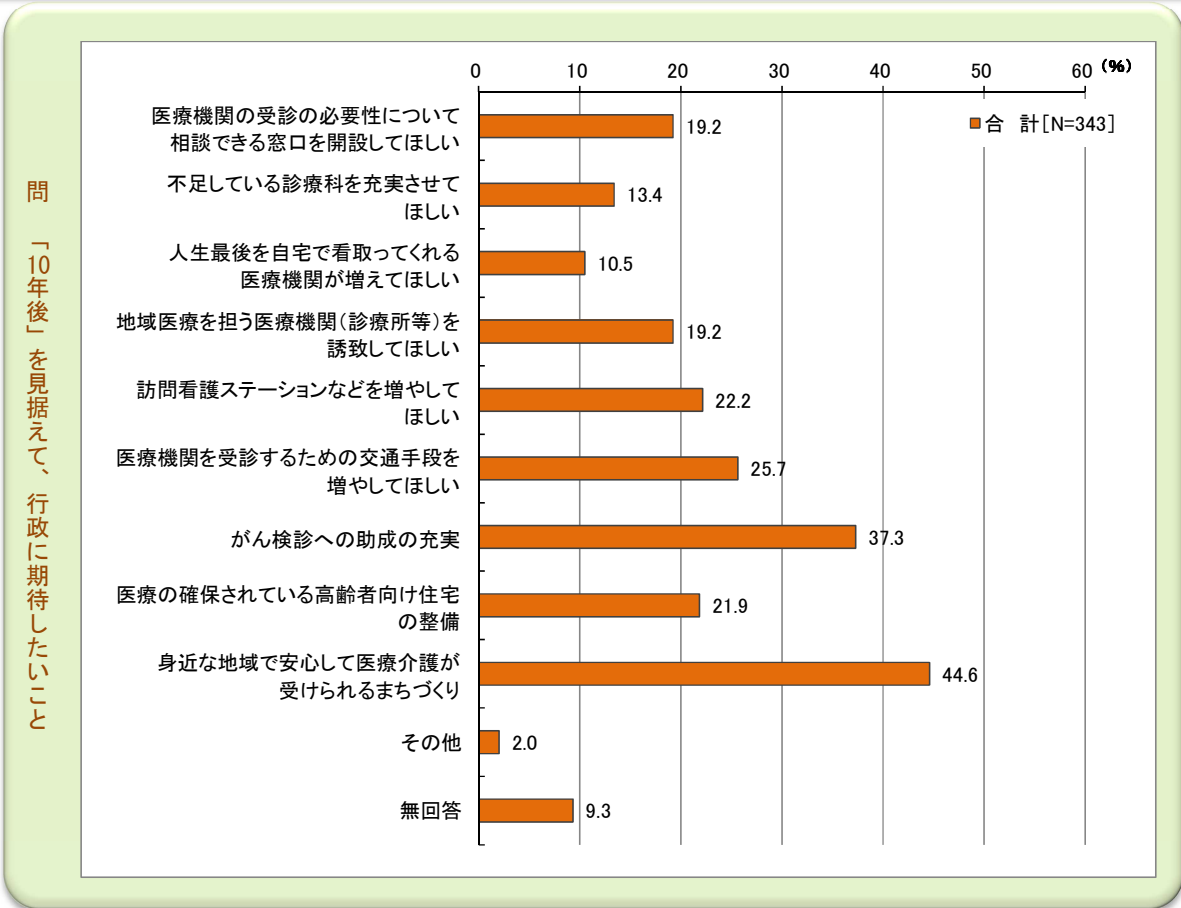
問  
充実してほしい「診療科」



- お住まいの地区で今後充実してほしい診療機能については、「小児医療」が66.5%、次いで「救急医療」が49.9%、「婦人科への対応」が28.0%です。



- 10年後の将来を見据えて、行政に期待したいことについては、「身近な地域で安心して医療・介護が受けられるまちづくり」が44.6%、次いで「がん検診への助成の充実」が37.3%、「医療機関を受診するための交通手段を増やしてほしい」が25.7%です。



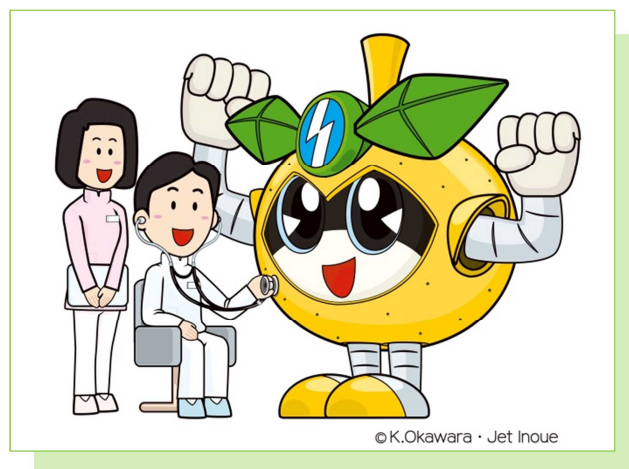
## 調査結果のポイント ①市民意識調査（年齢別）

- ✓ 回答者の70%以上の方が「かかりつけ医」を決めており、その所在地区は、「市外」が26.9%です。外来受診先も「市外」が43.8%です。(P3)
- ✓ 外来受診先を選ぶ理由は「診療分野に優れた実績の医師がいる」が31.4%です。(P4)
- ✓ 自宅から医療機関までの外来受診の時間は「10分以上30分未満」の45.4%、手段は「徒歩」の32.7%が最も多くなっています。(P4)
- ✓ 市内の医療機関を受診した際に感じたことは、「医療機関で長時間待たされる」が33.3%と最も多くなっています。(P5)
- ✓ 今後充実してほしい診療科は、「耳鼻咽喉科」が29.3%、次いで「内科」が26.4%です。(P5)
- ✓ 今後充実してほしい診療機能は、「救急医療」が39.8%、次いで「認知症への対応」が29.6%、「往診への対応」が20.8%です。(P6)
- ✓ 行政に期待したいことについては、「身近な地域で安心して医療・介護が受けられるまちづくり」が55.7%、「医療の確保されている高齢者向け住宅の整備」が28.8%、「看取りの医療機関が増えてほしい」が27.5%、「訪問看護ステーションなどを増やしてほしい」が27.0%です。(P6)



## 調査結果のポイント ②市民意識調査（乳幼児の保護者）

- ✓ 「子どものかかりつけ医を決めている」とした回答者は 93.0%となっており、その所在地区は、大丸、矢野口、東長沼の割合が多くなっています。(P8)
- ✓ 過去1年間にお子様の外来を受診した医療機関の所在地区は、大丸が43.5%と最も多く、次いで市外が30.7%です。(P8)
- ✓ お子様が生外の医療機関を外来受診した理由は、「自宅や実家が近く受診しやすい」が最も多く26.0%です。(P9)
- ✓ お子様が生外来受診した診療科は、「小児科」が62.9%、次いで「内科」が33.9%、「耳鼻咽喉科」が27.2%です。(P9)
- ✓ お子様の生外来受診の際に利用した交通手段は、「自動車」が45.4%です。(P10)
- ✓ お子様の夜間・休日の医療機関の受診は、「あり」が39.7%です。(P10)
- ✓ 今後充実してほしい診療科は、「耳鼻咽喉科」が42.9%、「小児科」が37.9%、「皮膚・泌尿器科」が33.5%、「婦人科」が33.2%です。(P11)
- ✓ お住まいの地区で、今後充実してほしい診療機能は、「小児医療」が66.5%、「救急医療」が49.9%です。(P12)
- ✓ 行政に期待したいことは、「身近な地域で安心して医療・介護が受けられるまちづくり」が44.6%、次いで「がん検診への助成の充実」が37.3%、「医療機関を受診するための交通手段を増やしてほしい」が25.7%です。(P12)



医療に関する市民意識調査  
— 概要版 —

発行 稲城市  
編集 稲城市 福祉部 健康課  
住所 〒206-0804 稲城市百村 112-1  
電話 042-378-3421